

令和6年 2月 8日

議会報告・意見交換会報告書

天童市議会議長 様

代表者 狩野 佳和
記録員 駒延 法子
班 員 遠藤 喜昭
班 員 佐藤 孝一

議会報告・意見交換会を開催したので、その概要を下記のとおり、報告します。

記

1 日 時	令和 6 年 1 月 27 日 (土) 午前10時～	
2 会 場	天童市総合福祉センター	
3 意見交換のテーマ	子育て支援について	
4 意見交換の内容 (議会・議員及び市政 に対する意見、提言、 要望等)	市 民	議 員
	子育ては50年後の投資と考 えている。子どもが育っていくた めに費用はかけた方が良い。 子育ての母親 (特に母子家庭) に対してメンタル・ヘルスケアが 必要と考える	そのとおりである。
	子育てはお金がかかる。エール 10 (テン) で小・中学校入学時 に10万円をいただき大変助か ったが、もっと援助をしてほし い。大学はもっと金がかかり、卒 業時には多額の奨学金返済を背 負い働くことになる。市内にUタ ーンしたくなるように、多種多様 な職種、仕事場を作ってほしい。 市内に戻り就職すれば返済不要 な奨学金もを作ってほしい。	エール10は大変助かり喜ば れているという意見はあるが、入 学時だけである。それよりも毎月 かかる給食費を徐々に無料化し た方が、保護者には負担軽減にな ると思う。 大学は県外でも、卒業後県内の 企業に一定期間就職すれば、返還 不要の奨学金はある。もっと該当 者を増やすようにしなければならない。

	<p>子育ての悩みをどこに相談すれば良いのか分からない。横のネットワークが必要である。市役所は敷居が高くて悩み事を相談できない。</p> <p>発達障がい児の放課後デイサービスが17時で終了するので、それ以後に学童保育に依頼する人もいる。個別の対応が必要な児童もいるために、指導員不足があり対応できない。</p> <p>子ども自身が、学校以外に相談ができる場所を設けてほしい。</p>	<p>市役所は縦割り行政なので、横のつながりができるネットワークは必要である。子育て支援の相談窓口を一本化し、センター等つくるべきである。</p> <p>要望は執行部に伝える。</p>
	<p>子育て関連の親の教室のようなものが必要である。0歳時、1歳時、2歳時等、細分化して運営するのが良い。</p> <p>子どもをゆったりとした環境の中で育てていくことが大事である。</p>	<p>親の意識も変わり、子どもを地域全体で育てることが希薄になっている。子ども会に加入しない児童も出ていることから、親同士のコミュニケーション不足も進んでいる。何とか解決したいものである。</p> <p>要望は執行部に伝える。</p>
	<p>学童保育の指導員不足が深刻である。指導員の処遇改善をお願いしたい。</p> <p>子育て支援関連の仕事全般で生活が成り立つような給料にし、成長産業にすべきである。</p>	<p>要望は執行部に伝える。</p>
	<p>学童保育の受け入れ人数の現状は40人以上になっている。市の条例で一人当たり1.65平方メートルになっており、児童一人の面積は小さすぎる。40人以下になるように環境を整備してほしい。</p>	<p>要望は執行部に伝える。</p>

7 所 感	<ul style="list-style-type: none">・子育て支援の拡充は早急に対策すべき案件と感じた。・子育て全般の相談窓口を一本化し、子育て世代が気軽に相談できる（仮称）子育て相談センター等を作ることが必要と感じる。市役所の敷居が高く感じ、来所がおっくうな人もいるので、子育て支援施設等に作るのが適切だと考える。
-------	--